

推進委員ちば

Vol.344

2020. 1.

千葉県交通安全活動推進センター

謹賀新年



藻原寺(茂原市)

令和2年 交通安全年間スローガン決定! (内閣総理大臣賞)

《運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの》

スマホより 横断歩道の 僕を見て

《歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの》

夕暮れの 一番星は 反射材

《中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの》

しっかりと 止まってかくにん 横だん歩道



年頭のごあいさつ



千葉県警察本部
交通部長

古川 等

明けましておめでとうございます。
地域交通安全活動推進委員の皆様方におかれましては、御家族共々穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

はじめに、昨年、千葉県は相次ぐ台風や大雨などの災害に見舞われ、甚大な被害を受けたところであり、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

皆様方には、平素から地域における交通安全活動の中核として、交通安全教育や広報啓発活動など、各種交通安全活動に御尽力いただいておりますことに敬意を表しま

う厳しい結果となりました。

県警では、今年が最終年となる

「第10次千葉県交通安全計画」に示された「年間の交通事故死者数を150人以下にする」との目標を達成するため、飲酒運転を始めとする悪質・危険な違反の指導取締り、交通安全教育・広報啓発、交通安全施設の整備等の諸対策を推進し、1件でも多く交通死亡事故等を抑止するため全力を尽くすこととしております。

を心掛けていただくよう、更なる啓発をお願い申し上げます。
また、本年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。大会期間中は、円滑な大会運営を確保するため、幕張メッセ、釣ヶ崎海岸の競技会場周辺などで交通規制を行うこととなりますので、車の利用をできる限り控えていただくなど、交通総量抑制等の取組にも御協力をお願いいたします。

すとともに、警察行政各般にわたる御理解と御支援を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢につきましては、年当初から一度に複数名の方がお亡くなりになる事故や横断歩道を横断中の小学生が被害に遭う事故など社会的反響が大きい事故が連続的に発生したところであります。皆様方の御支援をいただきながら、数次にわたる緊急対策を実施した結果、一昨年と比較して交通人身事故発生件数、死者数、負傷者数ともに前年に比べて減少したものの、交通事故死者数が初めてワーストとい

特に、横断歩道において歩行者が安全に横断できるようにするため、引き続き「ゼブラ・ストップ作戦」を強力に推進することとしておりますので、推進委員の皆様方には、ドライバーに対し横断歩道の手前では減速し、横断歩行者がいた場合には一時停止するという義務があることや、歩行者には道路を横断する時は横断歩道等を利用するなど事故に遭わない行動

「交通安全県ちば」の実現には、皆様の御理解と御協力が不可欠であります。本年も引き続き、地域における交通安全意識の高揚に向け、なお一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、千葉県交通安全活動推進センターの益々の御発展と、各地域交通安全活動推進委員の皆様方の御健勝を心から祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

千葉県警察本部交通部 交通総務課長



松原 弘二

謹んで、新年の御挨拶を申し上げます。

はじめに、昨年は相次ぐ台風の来襲に伴う強風や大雨により、県内では甚大な被害が生じたところであり、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地域交通安全活動推進委員の皆様方におかれましては、地域における交通安全活動のリーダーとして、各種広報啓発活動等による交通事故防止に御尽力いただいておりますとともに、警察行政各般にわたり多大なる御理解と御協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

令和のスタートの年であり、昨年中の交通事故情勢は、発生件数をはじめ全ての面において減少し、特に交通事故死者数は、172人で、一昨年と比較して14人の減少となりましたが、残念ながら警察庁が昭和23年に統計を取り始めて以降、初めて千葉県が全国ワーストになる大変厳しい結果となりました。

交通死亡事故の主な特徴としては、「飲酒運転・歩行者・高齢者」の3つが挙げられます。

一つ目の飲酒運転は、これまで飲酒運転に起因する悲惨な交通事故が全国で相次いで発生し、累次にわたり罰則の強化が図られてきたところですが、本県では、未だに飲酒運転の交通事故が後を絶たず、昨年も約1割弱の13人の方がお亡くなりになり、飲酒運転に起因する交通事故の発生が、全国ワースト上位に位置していること。

二つ目の歩行者は、交通死亡事故死者の約4割にあたる75人が歩行中に被害に遭われており、その約6割強が高齢者であるほか、約4割が横断歩道の無い場所を横断中に被害に遭われていること。

三つ目の高齢者は、交通死亡事故死者の約5割強にあたる90人が高齢者であり、特に早朝や夕方時間帯に、歩行者が横断歩道以外の場所を横断しようとして事故に遭われていることでもあります。

県警では、これらの特徴を踏まえ「飲酒運転の取締り強化や飲酒運転根絶気運の醸成」、「運転者の歩行者保護意識の更なる高揚を図るため「ゼブラ・ストップ作戦」の継続実施」、「高齢者に対する総合的な交通安全対策の更なる推進」を対策の柱とし、交通安全対策に全力で取り組んでまいります。交通事故を1件でも多く減少させるためには、「交通安全県ちば」を実現するためには、ドライバー、自転車

利用者、歩行者といった道路を利用する全ての人が、それぞれの立場における責任を自覚し、交通ルールを遵守し、交通マナーを実践することが重要であります。

そのためには、地域における交通安全のリーダーである推進委員の皆様方の日頃の活動が必要不可欠であることは言うまでもありません。

今後も、交通安全に関する情報に接する機会の少ない方々に向けて、現下の厳しい交通情勢や交通安全情報を積極的に発信していただくなど、引き続き「交通安全県ちば」の実現に向けた活動に、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全活動推進センター及び地域交通安全活動推進委員協議会の益々の御発展と推進委員の皆様方の御健勝を祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

令和元(平成31)年中の交通事故発生状況

(平成31年1月～令和元年12月)

◆ 県内の交通事故発生状況

区 分	総 数	前 年 比
発生件数	16,476	－ 898
死者数	172(167)	－14(－16)
負傷者数	19,904	－1256

※ 死者数欄の()内は発生件数を示す。

◆ 死者数の多い都道府県

順 位	区 分	死者数	前年比
1	千葉	172	－ 1 4
2	愛知	156	－ 3 3
3	北海道	152	＋ 1 1
4	兵庫	138	－ 1 4
5	東京	133	－ 1 0
6	神奈川	132	－ 3 0
7	大阪	130	－ 1 7
8	埼玉	129	－ 4 6
9	茨城	107	－ 1 5
10	静岡	101	－ 3

○全国の死者数 3,215人
(前年比 -317人、-9.0%)

◆ 死亡事故の特徴

1 事故類型別発生状況

○ 事故類型別では、車両対歩行者が66件(39.5%)、車両相互が61件(36.5%)、車両単独が34件(20.4%)、踏切が6件(3.6%)となっている。
(なお、車両相互には、自転車関連事故20件が含まれている。)

2 昼夜間別発生状況

○ 昼夜別では、昼間が70件(41.9%)、夜間が97件(58.1%)となっている。
○ 昼間の類型別では、車両相互が34件(48.6%)、車両対歩行者が18件(25.7%)、車両単独が16件(22.9%)、踏切が2件(2.9%)、また夜間の類型別では、車両対歩行者が48件(49.5%)、車両相互が27件(27.8%)、車両単独が18件(18.6%)、踏切が4件(4.1%)となっている。

3 年齢層別死者数

○ 高齢者が90人(52.3%)と最も多く、40歳代が22人(12.8%)、若者が21人(12.2%)、50歳代が12人(7.0%)、30歳代及び60歳～64歳がそれぞれ10人(5.8%)、25歳～29歳が4人(2.3%)、子供が3人(1.7%)となっている。

4 状態別死者数

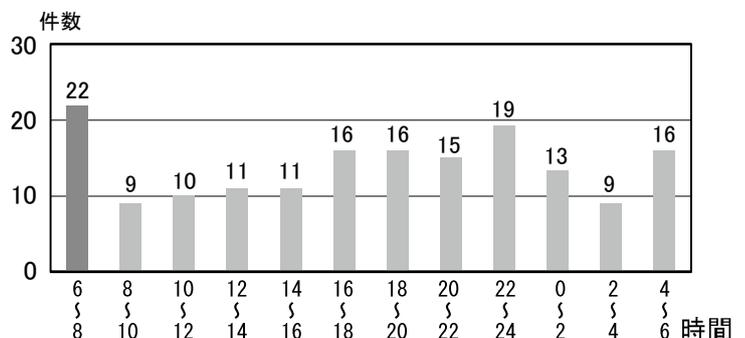
○ 歩行中死者が75人(43.6%)と最も多く、次いで四輪乗車中死者が43人(25.0%)、二輪乗車中死者が29人(16.9%)、自転車乗用中死者が24人(14.0%)、その他が1人(0.6%)となっている。
なお、歩行中死者のうち49人(65.3%)が高齢者である。

○ 四輪乗車中死者のうちシートベルト非着用者は23人である。

5 法令違反別発生状況

○ 前方不注意が40件(24.0%)と最も多く、次いで運転操作不適及び安全不確認がそれぞれ36件(21.6%)、信号無視及び動静不注視がそれぞれ11件(6.6%)、一時不停止が7件(4.2%)、歩行者妨害が6件(3.6%)、通行区分が4件(2.4%)、優先通行妨害及び安全運転義務違反その他がそれぞれ3件(1.8%)、最高速度違反、踏切不停止及び交差点安全進行義務違反がそれぞれ1件(0.6%)、その他の違反が7件(4.2%)となっている。

6 時間帯別発生状況



発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会 千葉県交通安全活動推進センター ホームページアドレス http://www.chiba-ankyo.or.jp	〒261-0025 千葉市美浜区浜田2丁目1番地 千葉県警察本部交通部運転免許本部内 TEL 043-271-8481
--	---